



鴻巣市立下忍小学校

令和2年12月1日発行

学校だより

◎教育目標（目指す児童像）

「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「元気でがんばる子」

鴻巣市鎌塚10番地

TEL 548-2300

無限の可能性を求めて～小さな会社のロケットづくり～

校長 宮野和幸

今年の秋頃を中心として放送された、池井戸潤さんの小説を映像化した「半沢直樹」というテレビドラマが、高視聴率をあげて世間から大きな注目を集めました。実力派俳優による迫真の演技、わかりやすい主人公と敵との対峙、主人公の決め台詞として多用された「倍返しだ!」というフレーズ等、逆境にもめげずに、現代社会を力強く生き抜く主人公の生き様や、人と人との熱い人間関係模様が、幅広い年齢層で大変強く支持されました。

同作家の代表作品は他にも数多く存在しますが、その中の一つに「下町ロケット」という作品があります。下町のある中小企業の製作所が、会社を守るために大企業の横暴に力強く立ち向かっていくという物語で、こちらも既にドラマ化され人気を博しました。

「ロケット」「宇宙機関」というと、アメリカ合衆国のNASA（アメリカ航空宇宙局）や、日本のJAXA（宇宙航空研究開発機構）等、世界には打ち上げ能力を有する機関が複数存在します。また、調べてみるとロケット1機に必要な部品点数は細かいネジ等を含めると100万点とも言われています。このような、決して容易ではない「ロケットづくり」を、小説やドラマさながらに、小さな会社という立場からでも、その夢を追い求めている会社があります。北海道の赤平市にある従業員20名ほどの植松電機と言う小さな会社です。多種多様なパワーショベルにつけるマグネットの製造・販売のほか、ロケットづくりの研究にも既に広く着手しているこの会社の「物づくり」に対する熱い思いは、代表取締役の植松努さんの、過去の様々な人生経験が大きく影響しているとのこと。

以下、本人の著書を参考に、これまでの経歴等を紹介してみます。

植松さんは、小学生時は紙飛行機を作るのが大好きで、みんなからは紙飛行機博士と呼ばれていた。しかし、勉強はからしきだめで、算数のテストは0点がほとんど。中学生になると、多くの友達が勉学に力を注ぐ中、植松少年だけは相変わらず紙飛行機づくりに夢中になっていた。このため学校の成績もふるわなかった。高校受験時を迎えた時、先生に「飛行機かロケットの仕事に就きたい」と相談したところ、「芦別に生まれた段階で無理だ」と言われたのだという。悔しい思いを胸に、植松さんは懸命に努力し、無事高校に進学する。しかし、大学受験時に高校の先生からも「おまえは十聞いたら一しか覚えな。絶対無理だ」と言われる。その後、北見工業大学を卒業し、数年後に父親の会社である植松電機で働くようになる。ここから植松さんのロケットづくりが始まるのである。「無理」とか「できない」という言葉で、自分のやりたいことに毎回のようにストップをかけられ、つらく苦しい思いをしてきた。そしてそれが原動力となって、この小さな会社で夢であったロケットづくりへの挑戦を決めたのである。

【参考】「NASAより宇宙に近い町工場」（植松勉 ディスカバー）

植松さんの心に残る言葉は、あきらめなければ願いはかなうという母親の「思うは招く」という言葉だそうです。「できません」「無理です」という言葉を、私たちも安易に使っていないだろうか。改めて考えてみたいものですね。無限の可能性に思いを込めて・

長寿会との花植え活動 11月9日(月)

11月9日(月)に、鎌塚長寿会の方々をお迎えし、花の植え替えを行いました。10時から約1時間の作業でしたが、花壇やプランターにビオラ等の色とりどりの花を植え替えていただき、とてもきれいで明るくなりました。今回植えた花は、来年の春頃まで咲き続けてくれるとのことでしたので、今後が楽しみです。ご協力ありがとうございました。



交通安全教室 11月16日(月)

鴻巣警察署や鴻巣市役所、交通指導員の方々を指導者としてお招きし、1年生と4年生の交通安全教室を実施しました。1年生は、横断歩道の渡り方を、4年生は自転車の乗り方について教えていただきました。交通ルールを守り、安全に十分気を付けることで、「自分で守れる命は自分で守る」といった大切なことを学びました。お忙しい中、ご指導して下さった皆様、本当にありがとうございました。



いじめの根絶に向けて

いじめは、いじめられた子どもの重大な人権侵害であり、決して許されるものではありません。時には、子どもの命に重大な危険を生じるおそれもあります。

鴻巣市では、いじめ防止などの取組を市全体で進めるため、「鴻巣市いじめ防止等のための基本的な方針」を平成26年11月に策定しました。また、いじめ防止等に関する機関及び団体の連携を推進するための組織や重大事態が発生した場合の調査組織について定めた「鴻巣市いじめ問題対策連絡協議会等条例」が市議会定例会において可決され、正式に制定されました。

本校でも、「鴻巣市いじめ防止等のための基本的な方針」をもとに「いじめ防止基本方針」を作成し、ホームページにて掲載しております。全教職員が共通認識のもと、いじめ根絶に向けて取り組んでおります。また、11月の全校朝会では、校長より「いじめはしない・させない・許さない」といった内容の話をする等、いじめの未然防止を目指した教育活動を日々行っておりますが、万が一、いじめが発生した場合には早期発見・早期対応が大切です。学校だけではなく、ご家庭・地域のご協力をいただいで、多くの目で子どもたちを見守っていきたくと考えております。下忍小学校がいじめのない温かい学校となるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ

本校のホームページでは、言語能力を高めるための「学校課題研究」にて、取り組んでいる内容について紹介しています。現在のところ「視写」についての内容のみですが、今後も随時紹介していきますので、ぜひご覧になってください。